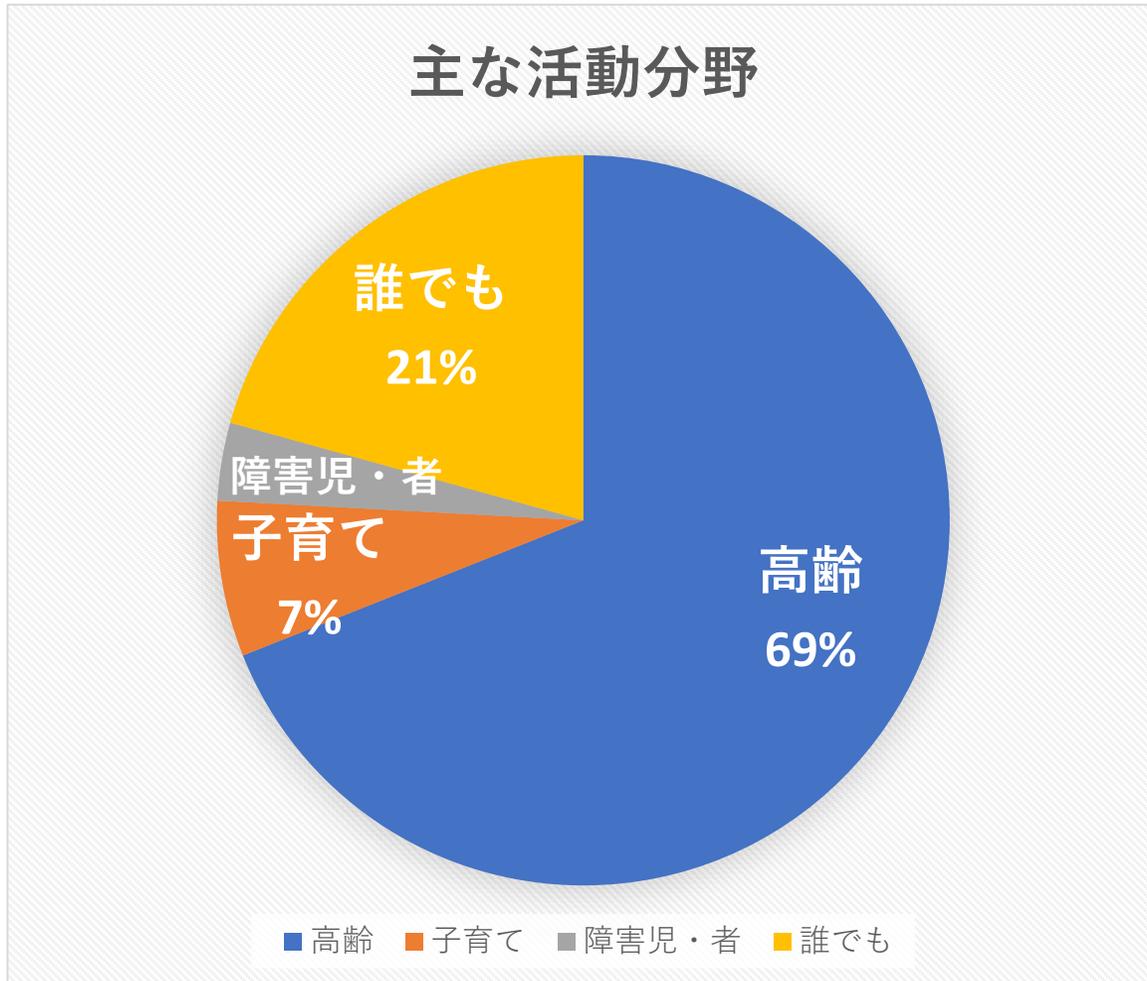


「新しい生活様式に合わせた  
通いの場の実践について考える」  
アンケート結果報告  
(令和2年7月実施)

令和2年7月31日  
新宿区社会福祉協議会  
地域活動支援課

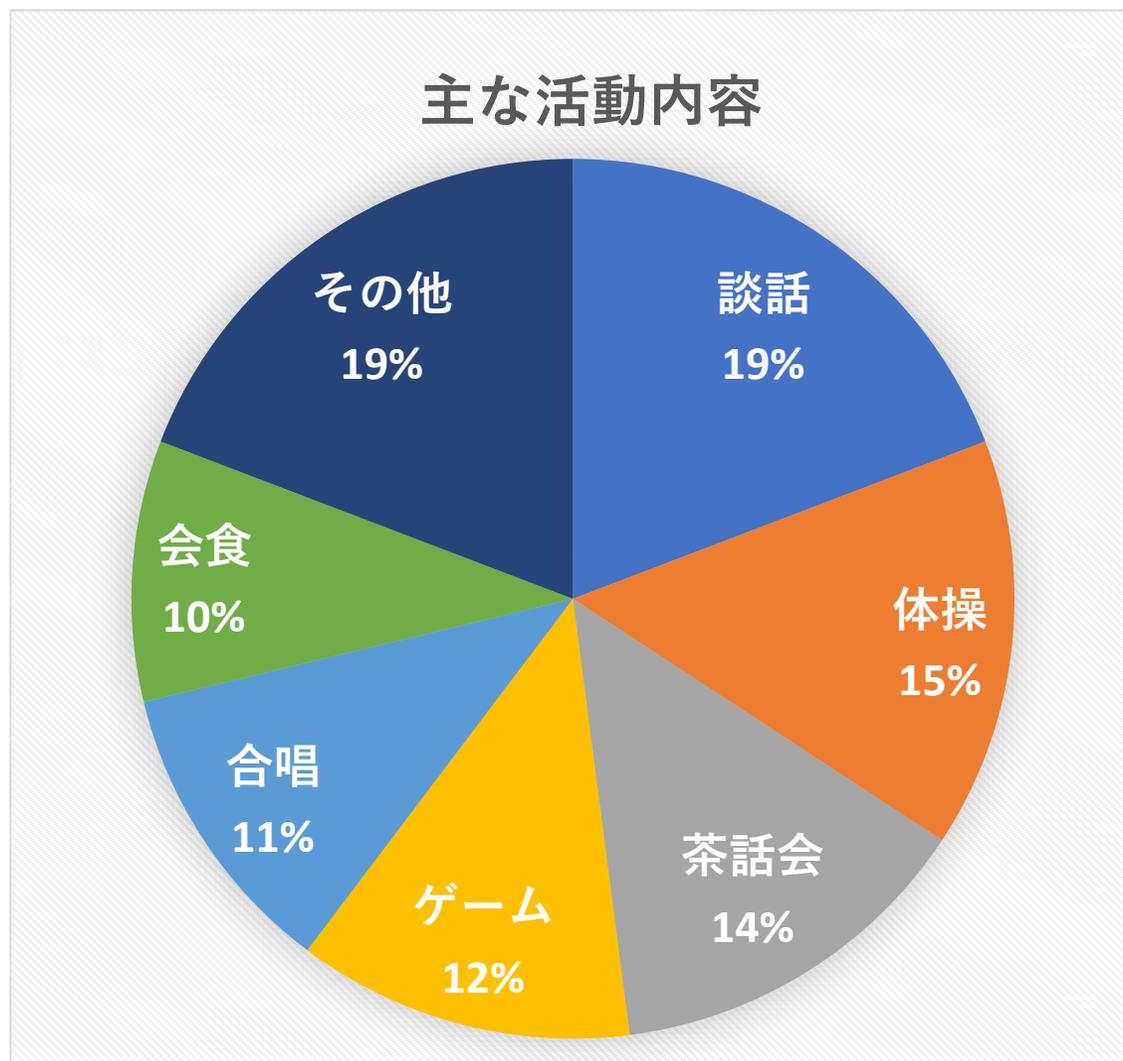
## 結果1 主な活動分野及び内容について

アンケート回答数：29団体



活動分野	団体数
高齢	20
子育て	2
障害児・者	1
誰でも	6
計	29

## 結果 1 主な活動分野及び内容について

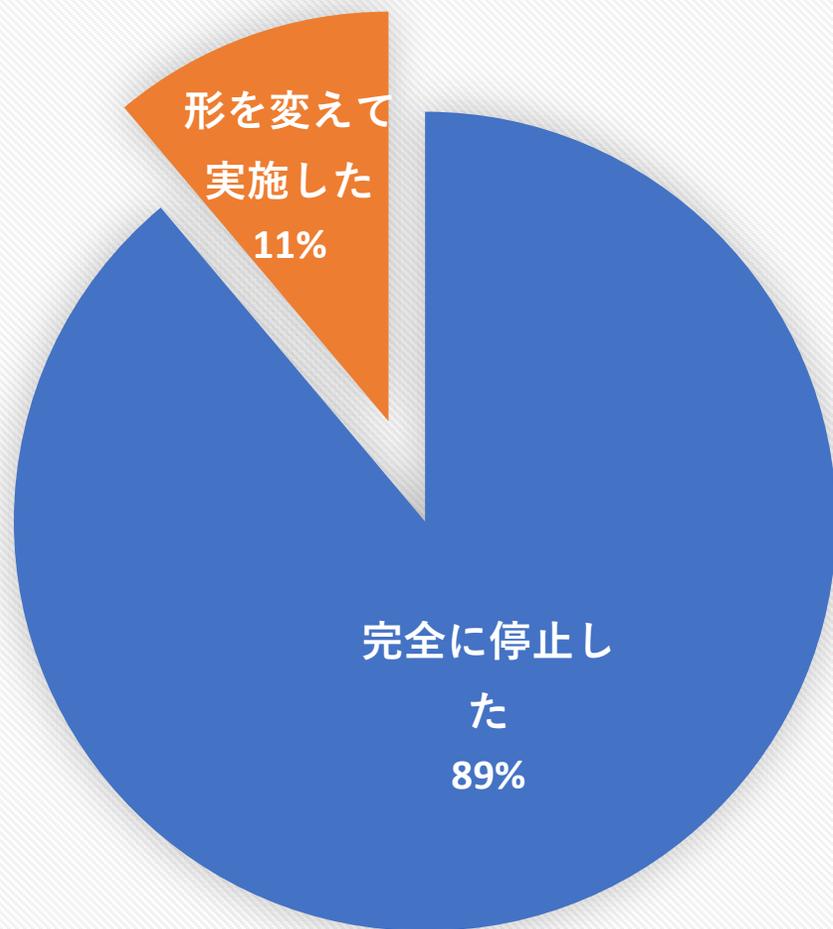


主な活動内容  
(複数回答あり)

談話	14
体操	11
茶話会	10
ゲーム	9
合唱	8
会食	7
その他	14

その他	歌、音楽療法、趣味活動、パソコン、講座カフェ、勉強、情報交換、絵手紙、自然・歴史文化体験、落語朗読会、折紙 アロマヨガ、ハワイアンダンス、庭で遊ぶ
-----	--

## 結果 2 緊急事態宣言下（4月7日～5月25日）における地域の通いの場の開催状況



### 回答

完全に停止	25
形を変えて実施	4
計	29

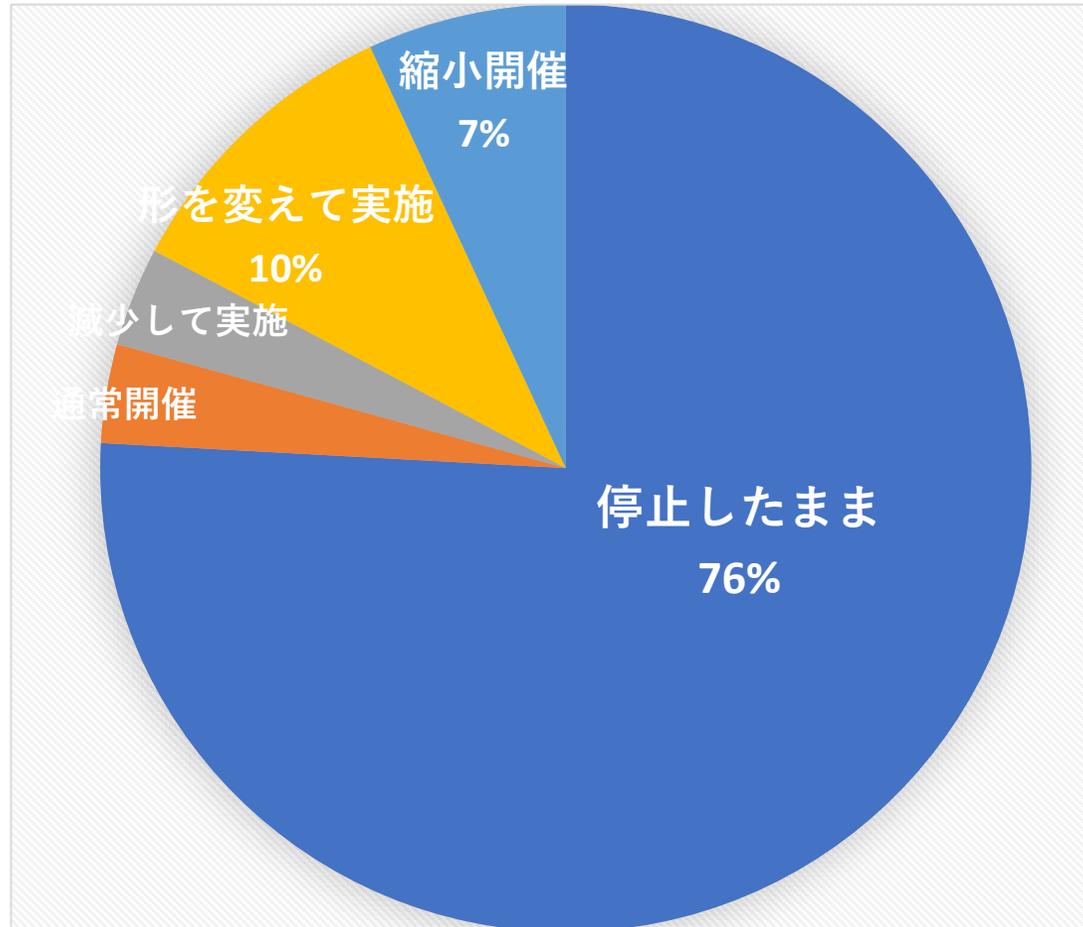
### 形を変えて実施

電話での安否確認  
電話での世間話

グループラインやZOOMでの会議  
ニュースレターを隔週で発行  
手紙・メールを送る

手作りマスクを配布

### 結果3 緊急事態宣言終了後の地域の通いの場の開催状況（6月まで）



#### 回答

停止したまま	22
通常開催	1
減少して実施	1
形を変えて実施	3
縮小開催	2

コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>形を変えて実施 →ZOOMで開催 →電話での安否確認</li> <li>減少して実施 →内容と回数を減らした</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>縮小開催 →6月1日～まちなか避暑地として実施（地域交流館・シニア館）</li> </ul>

## 結果4 活動自粛期間の参加者への影響



### その他6件（自由記述）

1 生活のリズムが違ってきた様に思う。生活に慣れて自ら体操散歩など、身体を動かさなくてはならなくなった。

2 太ったという方が多い。

3 参加している人と会いたい。

4 外出機会が少なくなり、楽しみが減る。

5 入浴に関する問い合わせが多かった。

（地域交流館・シニア館）

6 外出できなくなりストレスが溜まり、不安が膨らむ。通訳支援が受けられない。

## 結果4 活動自粛期間の運営者への影響－1

### 【感染への不安】

- ・感染リスクがあり、なにもできなかった。
- ・参加者、運営者それぞれ自粛で活動せず、コロナ感染予防が第一。
- ・感染防止のための消毒作業をしたいが、物資不足になり、思うようにできなかった。また、職員は通勤中のリスクがあるので不安。（地域交流館）
- ・職員が感染を仲介しないよう体調管理に努めた。在宅研修を取り入れ、職場の密を避けた。（シニア活動館）

### 【参加者への思い】

- ・参加者の方によるこんで頂ける機会がなくなり、残念でした。
- ・参加者の方が元気になっているか心配だけれど、訪問ができていない。
- ・お一人住まいの方が多いため、とても気になっている。
- ・電話だと「元気」と言ってしまう人がいる。
- ・対面でないと覚えがないことが多い。
- ・孤独、うつ病、フレイル、肥満などが心配。

## 結果4 活動自粛期間の運営者への影響－2

### 【運営方法の模索】

- ・高齢者が心配ではあるが、今までの様な事ができないとなった時、  
どういう形態が良いのか思案中。
- ・お抹茶の提供と他催物を行っており、この頃、お客様が簡単な手作りが  
好まれ、物作りをするため、運営方法を考え中です。
- ・マスクをしたり、ソーシャルディスタンス、換気をしての体操は中々、  
難しいと思う。（クーラーと換気扇使用）
- ・活動の場が閉館などで活動ができない。
- ・サロンと違う場での活動が増えた。
- ・会員の状況把握方法を模索するため他団体と連絡をとり、やり方を学んだ。

### 【参加者への連絡作業】

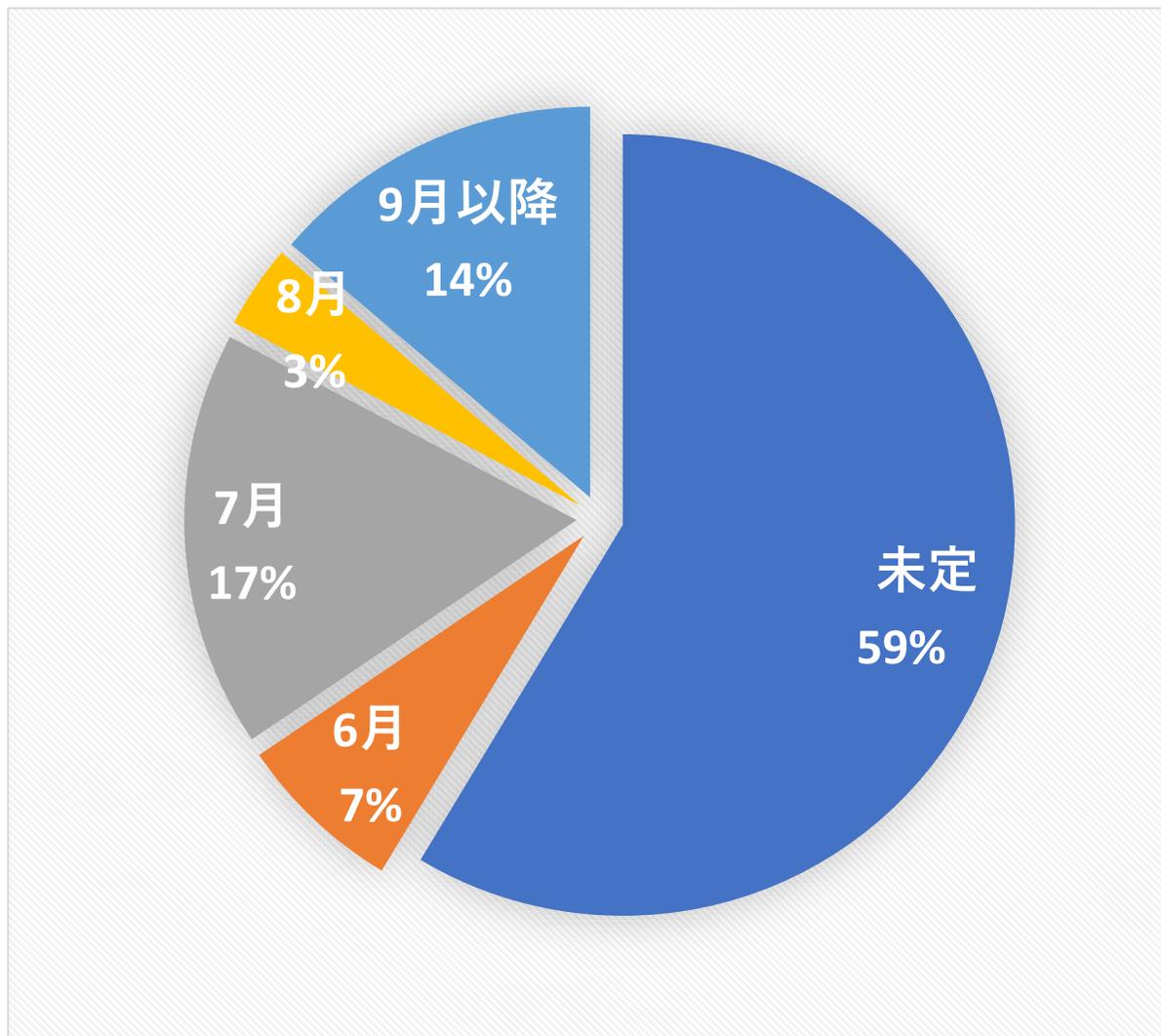
- ・会員各位への開催に関する通知作業が発生。
- ・開始時期の予測が立たないため休止のお知らせを2回掲示した。
- ・2月から6月の間、休止と再開の目途がつかないので、次回のお知らせまでお  
待ちくださいのはがきを3回発送。  
郵券代とはがき40枚×3回の印刷、宛名書きなどが負担になりました。

## 結果4 活動自粛期間の運営者への影響ー3

### 【その他】

- ・ 継続のためのモチベーションを保つことが難しい。
- ・ 会員に区外の人もあり、コロナが少し沈静するのを待つばかりです。  
会員の中では、張り切っている人がおりますが、代表として、今は前へ進む気にはなりません。
- ・ 何が出来るのか考えたが、それ以前に自分の生活が安定しませんでした。
- ・ （形を変えて実施しているが）参加費はない。
- ・ 計画の見直しをしたいが地域や身体状況、考え方により温度差があり、予定が立たない。

## 結果5 通いの場の再開予定について



### 活動再開（予定）（29団体）

未定	6月	7月	8月	9月以降
17	2	5	1	4

### 【再開にあたって変更したこと】

- ・会場を広い場所に変更
- ・活動内容の変更（接触の多いゲーム、声を出す合唱を避けるなど）。
- ・検温、マスクを持参し、マスクの袋を準備。ヨガマットと椅子の消毒、手洗いを行う。
- ・ソーシャルディスタンスを十分取る
- ・机、イスの配置換え（参加者間の距離を空ける）
- ・換気をする。
- ・3密を避けるようにする為に事前予約制とし、人数制限を設ける。

## 結果5 通いの場の再開について

### 【実践にあたっての課題】

- ・ 密と熱中症の防止が課題
- ・ 高齢者が多いため、空調と換気のバランスへ配慮が必要
- ・ ソーシャルディスタンスを保てる会場の確保
- ・ 会場となる高齢者施設等の許可がいつでるか
- ・ 感染症対策をきちんとするほど活動の制約が増え、長所や楽しさが減る。
- ・ 参加人数が現在少ないので、距離を空けることができているが、通常参加に回復した場合のスペース不足
- ・ マスク・体温計や消毒用アルコールの確保（購入する予算含む）
- ・ （折り紙サロン）折紙は三密に当たる為、どのような形・手段で活動を続けていくか、状況が定まらなると決められない
- ・ 対面で会うことを大切にしていたため、オンラインにしてよいのか悩む

アンケートへのご協力、  
ありがとうございました。  
これからの地域活動について、  
アンケート結果も参考に検討していきます。

新宿区社会福祉協議会  
地域活動支援課

